



荒川中だより

青い雲

教育目標 「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

令和6年度 第8号
令和6年12月12日発行
村上市立荒川中学校

人権が尊重され、笑顔と希望にあふれる学校づくり

校長 西村 諭

12月4日から12月10日は、第76回人権週間でした。21世紀は人権の世紀と言われており、部落差別解消推進法やヘイトスピーチ解消法など、人権課題に関する法律が施行されています。学校教育においては、差別の現実に深く学び、「かかわる同和教育」の理念を踏まえ、一人一人を大切にしながら、人権が尊重される学級づくり、学校づくりを全校体制で行うことが重要であると考えております。

当校は、教職員一人一人の人権感覚を高めるための研修会の実施や、授業公開を通して意見交換をしながら、多様な見方・考え方に学び合う、授業づくり研修を進めて参りました。また、日頃から授業や休み時間など、生徒に寄り添うとともに、一人一人の話を傾聴することを通じて、生徒との信頼関係づくりを大切にしております。

今年度、当中学校区は人権教育、同和教育授業研究会の指定2年目であり、11月27日に多くの方をお招きして授業研究会を行いました（詳細は裏面をご覧ください）。すべての学年で同和問題について学習をしました。参観者の皆様から、研究内容や生徒の様子について、次のような声をいただきました。（アンケートの感想から抜粋）

- 中学生の挨拶がとてもよく、気持ちよかったです。3年生の授業を参観しました。資料のつながり、自分事として考えるなど、とても参考になりました。
- 部落問題学習のスタンダードを示し、授業をされたことは大変素晴らしいことだと思っています。今回のスタンダードを軸として、公開授業をされたことは、部落問題学習に悩んでいる学校・先生にとってとても有効でした。
- 公開授業もそうでしたが、研究主題とそれに迫るための手立てからたくさんのごことを学ばせていただきました。自校に生かしたいと思えます。

上記のような評価がいただけたことを、うれしく感じております。これからも研修を重ね、人権が尊重され、笑顔と希望にあふれる学校づくりに努めて参ります。

さて、12月24日は2学期終業式です。今学期は、熱戦を繰り広げた体育祭に始まり、職場見学・職場体験・あらチャレ等の総合学習、心を一つにして歌った青雲祭等がありました。生徒は多くの成果を上げ、着実に成長しております。この間、保護者・地域の皆様からは、学校教育に対してご理解とご協力をいただき、感謝しております。特に学校行事で、皆様から学校へ足を運んでいただき、拍手や温かな声を掛けていただいたことは、生徒の喜びであり満足感や達成感を覚えたことと思えます。誠にありがとうございました。

3学期は一年間のまとめであるとともに、新年度の飛躍への準備の学期となります。来年も、教職員一同、全力で教育活動に取り組んで参ります。本年同様、何とぞよろしくお願いたします。

～ 一年間ありがとうございました。皆様、よい年をお迎えください。～